

地域資源(三木ブランド)の魅力向上

三木市のさまざまな優れた地域資源を活用し、地域の活性化を図ります。

全国削ろう会三木大会を支援

- ・かな鉋を使ってどれだけ薄く木を削れるかを競い合う全国大会を6月13日(土)・14日(日)に「鍛冶でっせ!」と同時開催
- ・開催地として実行委員会の取組を支援するとともに、全国大会の発信力を生かし、関係団体と連携して三木金物をはじめとする三木市の魅力を全国へPR



【200万円】

大河ドラマ「豊臣兄弟!」ゆかりの地のPR

- ・NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟!」の放映に合わせて、三木合戦ゆかりの地を巡るクイズラリーや「みっきいハイキング」の実施
- ・春風亭昇太さん(落語家)と中井均さん(滋賀県立大学名誉教授)による三木城トークショーや三木合戦にまつわる企画展、講演会の開催

【575万円】

ゴルフを核にしたまちづくりの推進

- ・全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会、スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会を開催
- ・日本プロゴルフ協会などと連携したジュニア育成
- ・みぎティブのゴルフクラブへの連携・協力
- ・関西国際大学ゴルフマネジメントコースへの連携・協力



【7,388万円】

「防災のまち三木」として災害への対応力の強化

- ・被災者生活再建支援システムの導入(家屋被害認定調査や罹災証明書発行など応急期の対応に県下統一システムを導入)

【354万円】

- ・防災情報マップの更新

【690万円】

- ・災害用備蓄品のさらなる整備

【1,034万円(3月補正)】

持続可能なまちづくり

安定的で効率的な行政サービスを提供するとともに、予算を有効に活用し、持続可能な行政運営の実現に向けた取組を推進します。

中央公民館等複合施設の整備

- ・4つの公共施設と三木商工会館を集約し、複合施設の整備を推進
- ・かわまちづくり計画を策定し、美嚢川リバーサイドパークと一体利用することで、より一層の賑わいを創出

【32億円(令和7～11年度 債務負担)、かわまちづくり計画:218万円】

公共施設包括管理委託制度の導入

- ・学校や公民館ほか110施設の維持管理業務などを建物管理の専門事業者へまとめて委託
- ・老朽化が進む公共施設を適正に管理することで、安全・安心な施設を市民に提供

【23億3,000万円(令和8～13年度 債務負担)】

地域の活力向上

人が集い、誰もがいつまでも元気で暮らせるまちづくりを進め、まちの活力を向上させます。

プレミアム付きデジタルお買い物券の発行

- ・国の交付金を活用して、プレミアム付きデジタルお買い物券を発行
- ・プレミアム率30%
- ・40,000セット発行(1口5,000円)【7,600万円(3月補正)】



ひょうご情報公園都市の整備を推進

- ・「ひょうご情報公園都市第2期」において公民連携(県・市・民間事業者)による新たな産業団地の整備を推進
- ・県企業庁とプロポーザルにより、開発事業者を1者選定予定
- ・開発区域に接続する市道の拡幅を検討

【1,020万円】



三木市地域おこし協力隊、吉川地域での農村RMOの推進

農村地域の農業生産活動および集落維持機能が低下していることから、「三木市地域おこし協力隊」とともに、これらを下支えする組織「農村RMO」の立ち上げを支援

【1,560万円】



(仮称)三木スマートインターチェンジの整備を推進

- ・(仮称)三木スマートインターチェンジと接続する市道の整備を引き続き推進
- ・令和8年度末の供用開始を目標

【3億5,315万円】



団地再生事業 青山7丁目団地再耕プロジェクトを推進

- ・全国の戸建て住宅団地が抱える「人口減少」「高齢化」「空き家」などの課題解決に向け、ライフステージに応じて住み替えながら暮らし続けることができる仕組みづくりや民間事業者と連携した持続可能なまちづくりの全国的な先行モデルとなる「団地再生事業」を推進
- ・5月には、「団地再生事業」の象徴的な施設である多世代交流施設「HITOTOKI MIKI(ひとときみき)」がオープン。総合相談窓口や、仕事や勉強ができる共有スペース、飲食店などを整備し、気軽に集える「まちのリビングルーム」として多様な世代の新たな交流機会を創出

【4,813万円】

